国営施設機能保全事業

ふ　う　れ　ん
風　連　地　区

地域の概況

本地域は、北海道名寄市に位置し、水稲（もち米）を主体に水田の畑利用による小麦、大豆等の畑作物及びかぼちゃ、スイートコーン等の野菜類を組み合わせた営農が行われています。

なかでも、名寄市のもち米は、作付面積で都道府県別第6位の福島県と同等で、品質の評価が高いことから、全国の有名菓子の原材料として使用されるほか、地域では、もち米農家によって設立された株式会社による６次産業化（生産→加工→販売）が行われています。

田植えの様子

地域ブランド

平成21年　『もち米』の作付面積
都道府県別順位

順位	都道府県名	作付面積
1位	北　海　道	8,040ha
2位	佐　　賀	6,650ha
3位	新　　潟	5,170ha
4位	岩　　手	3,610ha
5位	熊　　本	3,570ha
6位	福　　島	2,990ha
7位	秋　　田	2,060ha
8位	山　　形	2,030ha
9位	宮　　城	1,830ha
10位	茨　　城	1,800ha

名寄市のもち米の作付面積
2,792ha

地域の現状

風連地区の用水施設は、昭和44年から61年に行われた直轄かんがい排水事業「風連地区」で造成されましたが、造成後20年以上が経過し、コンクリートのひび割れや剥離、ゲート設備の腐食など劣化が生じているほか、電気設備等の故障や作動不良が発生しています。

コンクリートの劣化
（風連ダム：下流分水工）

取水施設の腐食
（御料ダム：取水塔）

配管類の応急処置
（風連ダム）

コンクリートの劣化
（日進頭首工：取水口）

ひび割れ
（第1幹線用水路）

目地部の損傷
（導水幹線用水路）

事業の目的

風連地区の用水施設は、劣化が進行していることから、将来において、農業用水の安定供給に支障を来すことになります。

このため、用水施設の機能を保全するための整備を効率的に実施する観点から、本事業において用水施設の補修等を行い、もって、農業用水の安定供給を確保し、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することを目的としています。

事業の実施

施設の劣化

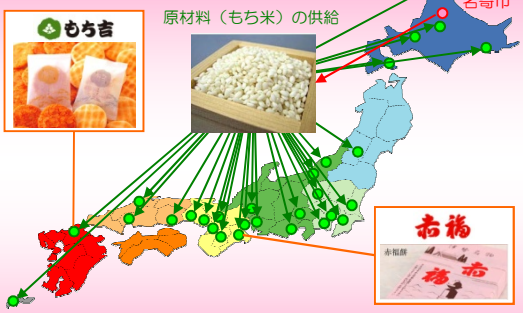
補修・補強

施設の長寿命化

用水の安定供給

～加工メーカーへの供給維持～

産地としての信頼確保



～6次産業化の維持～

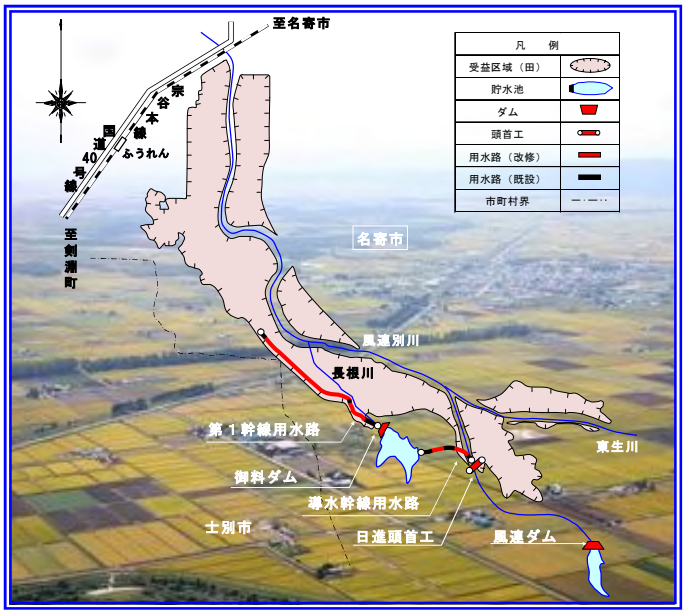
地域ブランドの維持

生産

加工

販売

北海道内で2店舗を経営　道の駅でレストランを経営

地　区　概　要

◇関係市町村：北海道名寄市
◇受益面積　：1,260ha（田：1,260ha）
◇受益戸数　：179戸
◇主要工事　：ダム（改修）　2カ所
　　頭首工（改修）　1カ所
　　用水路（改修）　2条　L=4.7km
◇主要作物　：水稲、水稲（加工用）、小麦、
　　大豆、そば、かぼちゃ
　　スイートコーン、だいこん